

「森林サービス産業(仮称)」検討委員会 検討内容のポイント

**「森林サービス産業」の創出に向けて
～新たな森と人のかかわり「Forest Style」の創造～**

平成31年2月4日

「森林サービス産業(仮称)」検討委員会 事務局

公益社団法人国土緑化推進機構

専務理事 沖 修司

「森林サービス産業」検討委員会 委員名簿

属性	氏名	所属・役職
委員	安藤 伸樹	全国健康保険協会(協会けんぽ) 理事長
委員	池田 三知子	経団連自然保護協議会 事務局長
委員	大本 晋也	(独)国立青少年教育振興機構 理事 国立淡路青少年交流の家 所長
委員	久保 成人	(公社)日本観光振興協会 理事長
委員	佐野 雅宏	健康保険組合連合会 副会長・専務理事 安田日本興亜健康保険組合・理事長
委員	椎川 忍	(一財)地域活性化センター 理事長 (一社)移住・交流機構 業務執行理事
委員	志村 格	(一社)日本旅行業協会(JATA) 理事長
委員	武居 丈二	全国町村会 事務総長
委員	土屋 俊幸	東京農工大学大学院 農学研究院 教授 林政審議会 委員(施策部会 部会長)
委員	中島 恵理	長野県 副知事
委員	鍋山 徹	(一財)日本経済研究所 専務理事 林業復活・地域創生を推進する国民会議 WG代表
委員	宮林 茂幸	東京農業大学 地域創成科学科 教授 美しい森林づくり全国推進会議 事務局長

報告の概要

- 【1】 森林空間総合利用の動向
- 【2】 新たな森林空間の総合利用に向けた動き
- 【3】 何故、今「新たな森林空間の総合利用」か
(3つの視点)
- 【4】 「森林サービス産業 ~新たな森と人のかかわり
「Forest Style」の創造~」の提案

【1】森林空間の総合利用の動向

～主たる施策の動向と、森と人が関わるコンテンツの変遷（イメージ）



【2】新たな森林空間の総合利用に向けた動き

① 新たな森林空間を利用したアクティビティの台頭

森のおんがくかい



野外フェス



森のフラワーセラピー



カメラ女子



森林セラピー・ヨガ



視

- ・風景の鑑賞
(紅葉・新緑等)
- ・森のフラワーセラピー
(園芸福祉的)
- ・森のフラワーセラピー
- ・カメラ女子

嗅

- ・森林浴
(樹木・花の香り等)
- ・アロマセラピー
(芳香療法的)

聴

- ・音風景
(鳥のさえずり・
風・溪流等)
- ・野外フェス・
森のコンサート
(文化・芸術的)

新たな
森林空間
の利用

触

- ・森林散策
- ・森林環境教育
- ・森林セラピー
(ヨガ・樹林気功等)
- ・森のようちえん

味

- ・野外料理
(バーベキュー等)
- ・ジビエ・山菜等
(健康食)
- ・ピクニックカフェ、
女子キャンプ

森のアロマ



森のようちえん



女子キャンプ



グランピング

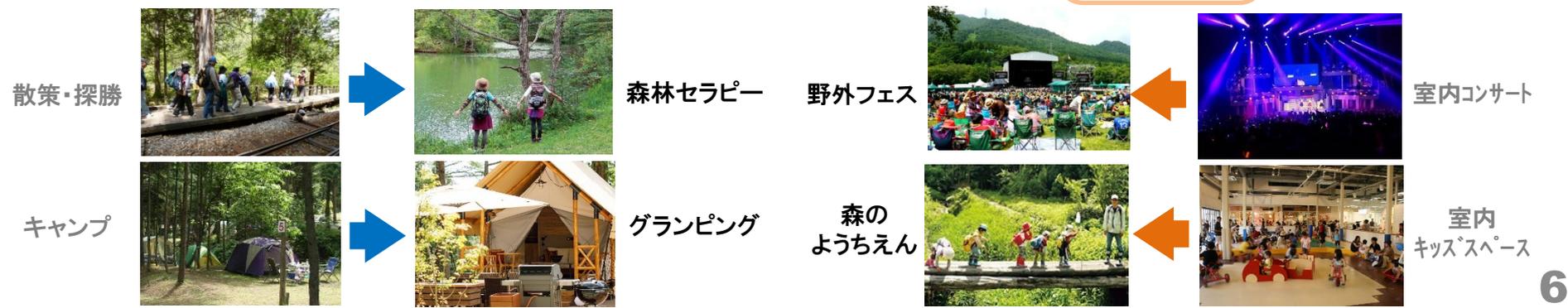
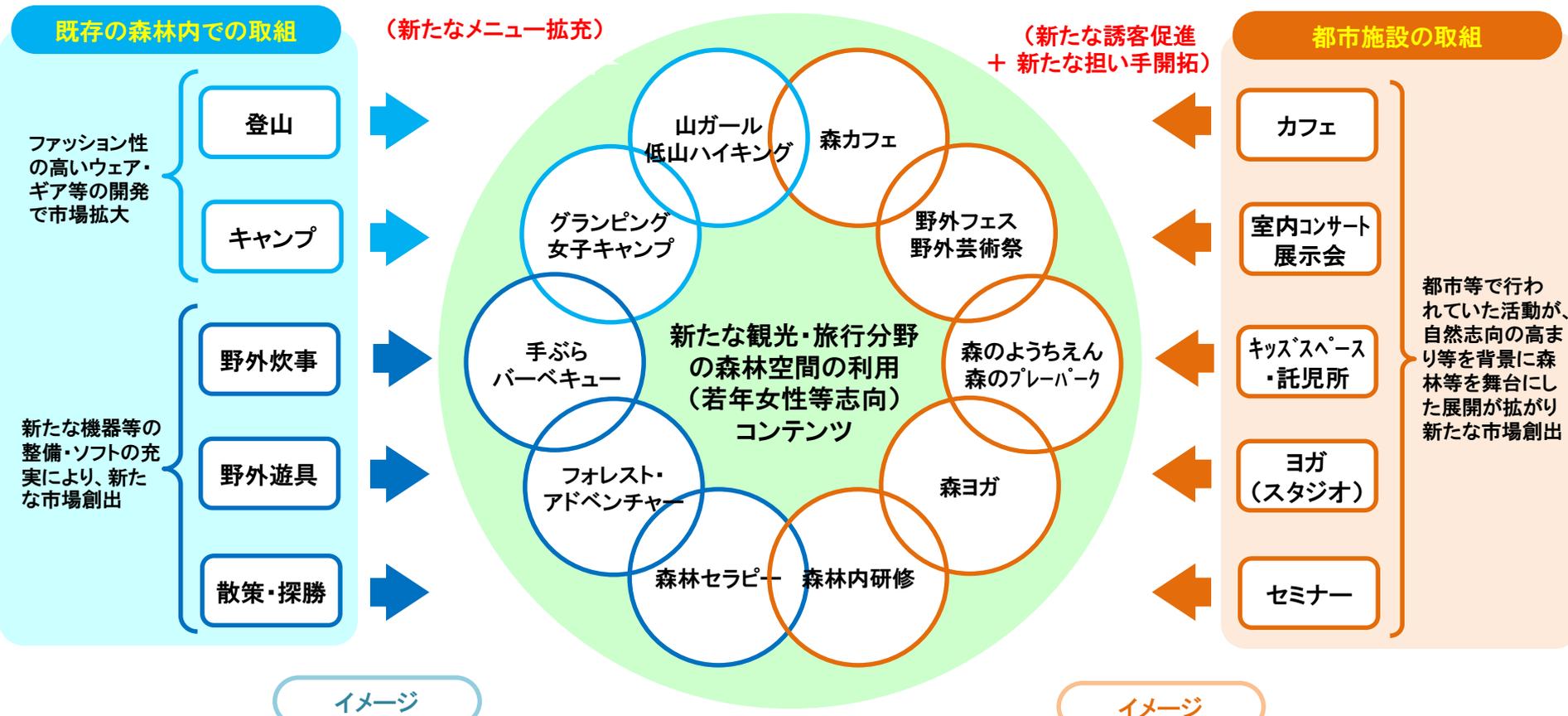


ジビエ・バーベキュー



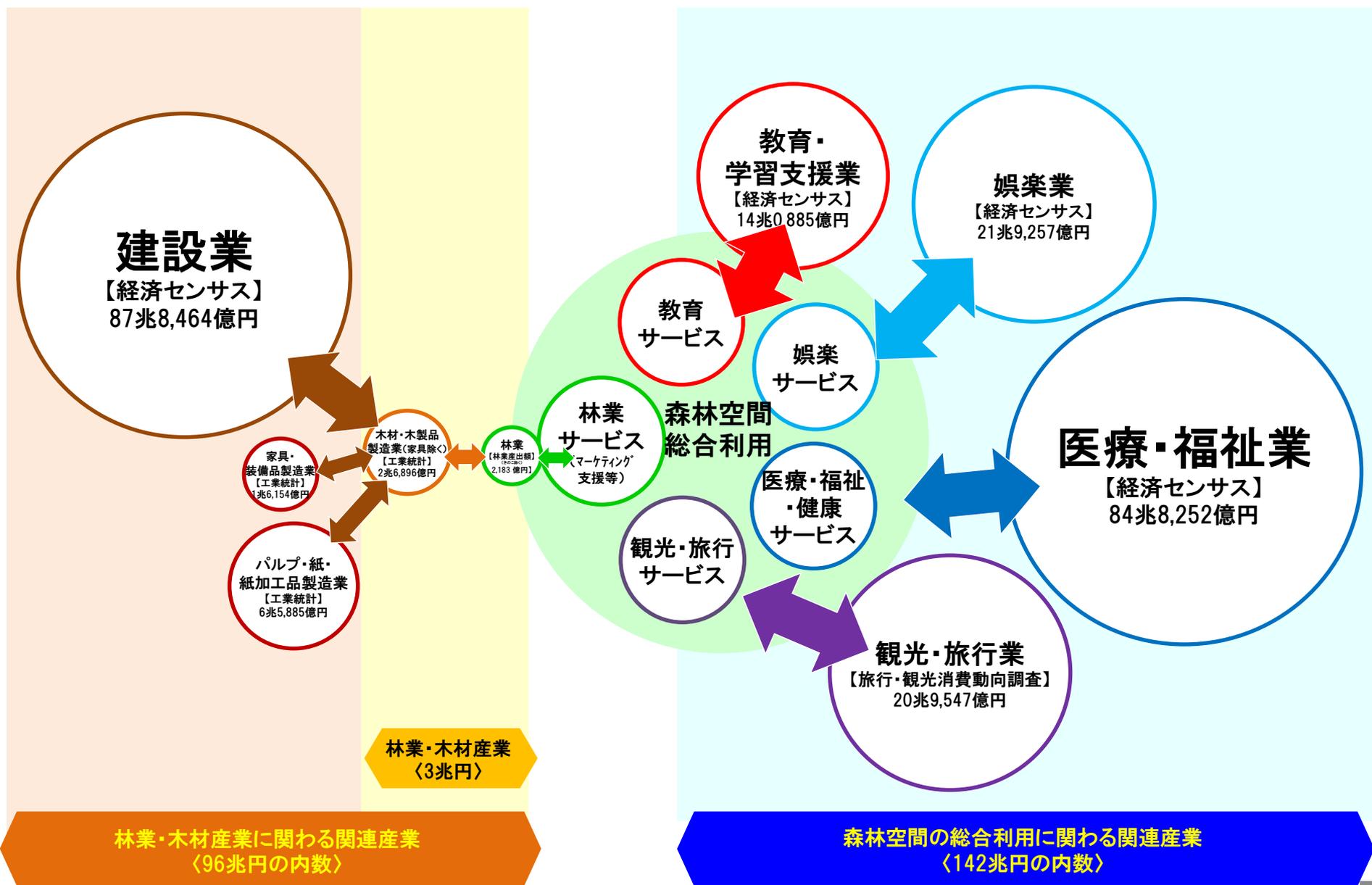
【2】新たな森林空間の総合利用に向けた動き

② 新たな森林空間を利用した動向 ～アウトドアの質の向上と都市施設での取組の導入～



【2】新たな森林空間の総合利用に向けた動き

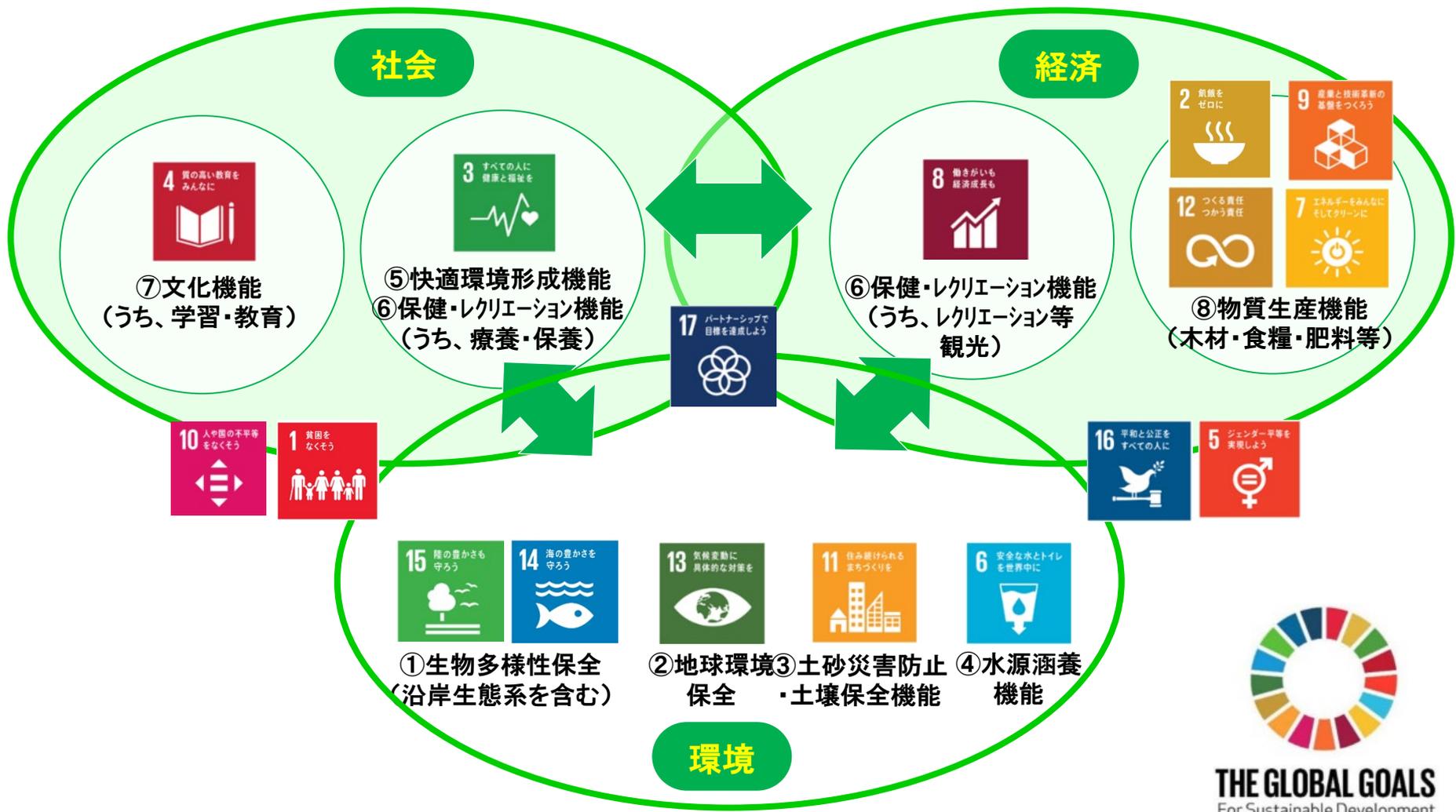
③ 森林空間の総合利用に関わる多様な関連産業（イメージ）



【2】新たな森林空間の総合利用に向けて注目すべき動向・視点

④ 森林の多面的機能の発揮とSDGs達成に貢献する「森林空間の総合利用」(イメージ)

「森林空間の総合利用」による貢献



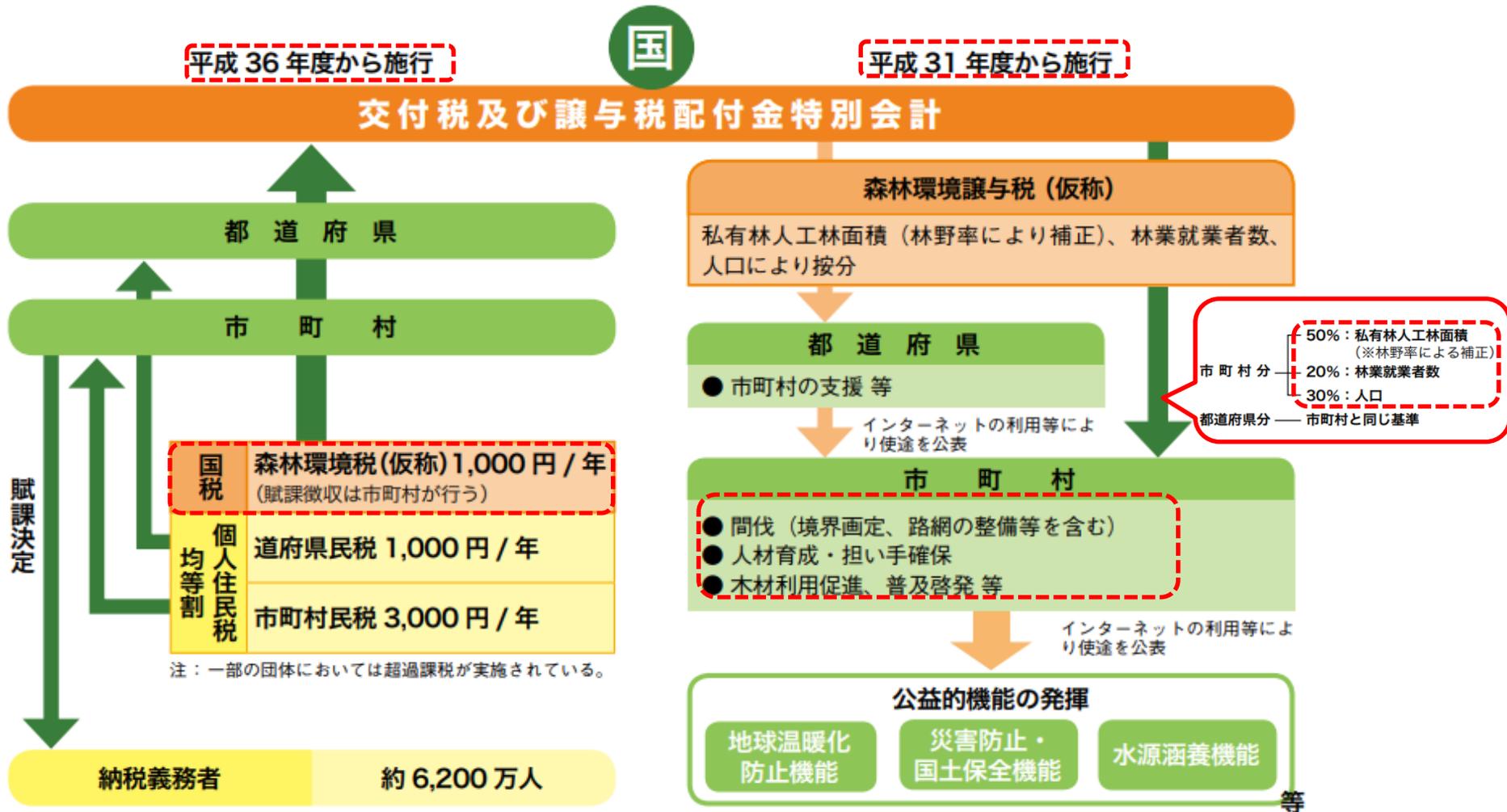
THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development

※ SDGsのターゲットの環境・社会・経済の位置付けは、個々の活動の目標によって異なるが、本資料では上記の位置づけで整理

【2】新たな森林空間の総合利用に向けて注目すべき動向・視点

⑤ 森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)

【森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)の制度設計イメージ】



【3】何故、今「新たな森林空間の総合利用」か(3つの視点)

①「森林資源の充実」による林業の成長産業化、森林空間利用のサービス産業化

整備途上の森林から、成熟しつつある森林の利用へ



成長産業化に繋がる芽

多様な森林資源の活用

- 成熟しつつある豊かな森林空間
 - ・森林景観やアメニティの向上、
→ 森林空間利用のポテンシャル拡大
- 多様化してきた国民の価値観やライフスタイル、余暇活動等

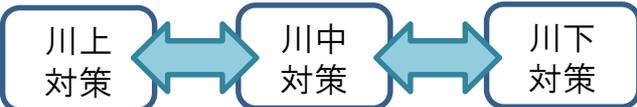
活用が期待される森林空間利用

森林からのサービスをビジネスとして利活用

サービス産業創出の芽

森林資源を最大限活用した林業

- 「林業の成長産業化」に向けた取組を推進
 - 森林の経営管理を担う **意欲と能力のある経営者の育成**
 - 経営の集積・集約化を進める地域への **路網整備・高性能林業機械導入**
 - サプライチェーンの構築 による流通コストの削減
 - CLT等の利用促進など **木材需要の拡大**



(車の両輪)

森林空間利用を含めた林業の成長産業化

「地方創生」

(地域の森林資源を活かした産業育成による しごと・まちづくり)

【3】何故、今「新たな森林空間の総合利用」か（3つの視点）

②「社会経済の変化」等への対応～新時代に合わせた既存産業強化・新産業等創出～

【社会経済の変化】

- AI・ロボット・IoT等進展をもたらす技術革新
- 経済のグローバル化による「モノ・コト・サービス化」への要請
- インバウンドによる訪日外国人の増大

【制度の見直し】

- 教育分野
：アクティブ・ラーニング等重視へ
- 医療保険分野
：疾病予防・健康づくり重視へ
- 労働分野
：「働き方改革」の推進

【価値観・ライフスタイルの転換】

- モノ・経済的な豊かさから、**心・暮らしの豊かさ志向**へ
- つながり志向の高まり
- ソーシャル志向の高まり
- 若者の**地方志向**の高まり

時代の変化を踏まえた、森林空間利用の新たな価値・取組の芽生え

- イノベーションをもたらすクリエイティブな思考力・デザイン力を育む場等としての森林の活用
- 訪日外国人による地方探訪

- 新たな時代に合わせた教育の場・題材としての注目
- 心身の健康づくりの場としての注目

- 森とふれあう新たな価値への気づき
(新しいアクティビティの拡がり、趣味・娯楽を森林内で行う動き等)

**森林空間を利用した
新たなサービス産業・ライフスタイルの創出**
(教育、健康、観光等の場としての森林空間の利用)

【3】何故、今「新たな森林空間の総合利用」か（3つの視点）

③ 地方創生への対応 ～SDGsの動きを活かして～

【定住化に向けた動き】

- 若年層等による「移住促進」の要請
- 「関係人口」創出への要請

【産業振興に向けた動き】

- 地場産業振興
- インバウンド等による観光需要の拡大

【行政への要請】

- 行政資源(財源・人材等)の活用
- 地方分権の進展による、自律的な政策展開

時代の変化を踏まえた、森林空間利用の新たな価値・取組の芽生え

- 手軽に森とふれあうアクティビティの拡がり
- 地域おこし協力隊などによる様々な取組の活発化

- 公共の森林総合利用施設をサービス産業創出の拠点とする動き
- 都市部施設での趣味・娯楽等を森林内で行う動き

- 住民の教育・福祉施策を都市住民にも発展(特に教育・健康等)
- 森林空間利用で林業のマーケティングを促進する動き

山村地域の森林空間を利用した 新たなサービス産業・ライフスタイルの創出

森林を活用した
新たな地域ブランディングの創出
と新たなライフスタイルの創出

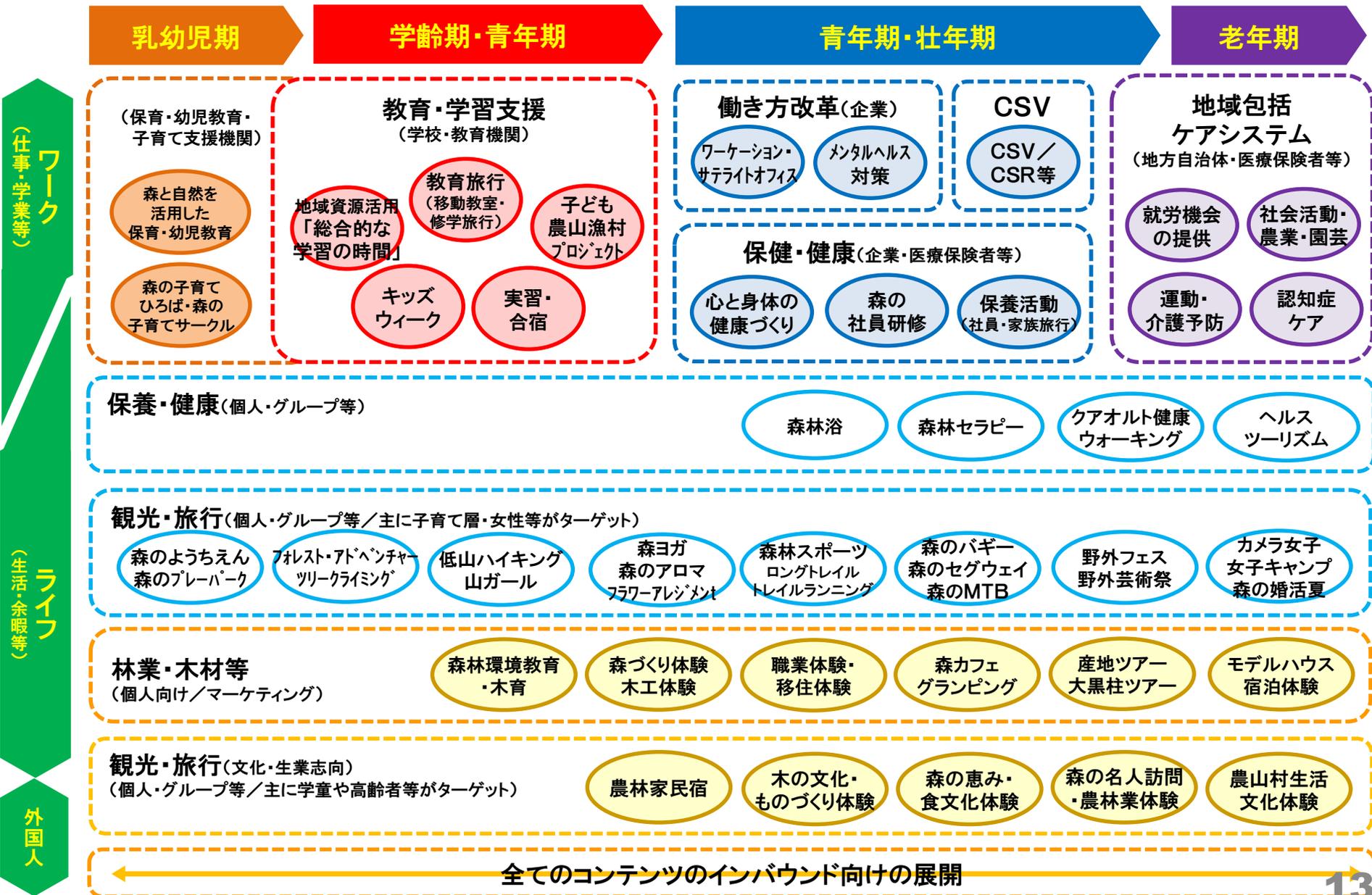
教育・健康・観光等を核にした、
新たな森林空間利用ビジネスの
創出・集積

森林を活かしたSDGs視点 の地方創生

「地方創生」活動による
諸施策を通じたSDGsへの貢献

【4】「森林サービス産業 ～新たな森と人のかかわり「Forest Style」の創造～」の提案

① ライフステージに応じた森林との関わり～「Forest Style」～



ワーク
(仕事・学業等)

ライフ
(生活・余暇等)

外国人

【4】「森林サービス産業 ～新たな森と人のかかわり「Forest Style」の創造～」の提案

② 森と人の新たなかかわりを生み出すライフスタイル「Forest Style」(イメージ)

これまで多く見られた
「森と人のかかわり」

これからの拡充が期待される
新たな「森と人のかかわり」=「Forest Style」

森林・山村地域

新たな「森林づくり国民運動」等

(学びを深め、健康を育み、暮らしを豊かにするために、月に1度は森へ行こう！)

【愛好者】

- 登山
- 自然・野鳥観察
- キャンプ
- ゴルフ 等

(対象が限定)
(森との関わりが限定)

【旅行者】

- レジャー(スキー)
- 観光(景勝地探勝)
- 保養(リゾート別荘)
- 合宿

(訪問が一時的)
(森との関わりが薄い)

【ワーク】

【乳幼児期・学齢期】 (教育等)

- 森と自然を活かした保育・教育
- 森のアクティブ・ラーニング等

(教育の質の向上)

【青壮年期・老年期】 (健康等)

- 心と身体の健康づくり
- 社員教育 ○ワーケーション等

(健康増進・生産性向上)

【ライフ】

【生活者】 (観光等)

- オシャレで手軽な森とのふれあい
- 都会の趣味・娯楽等を森林の中で

(暮らしの豊かさの向上)

定住人口(移住)

交流人口

関係人口

(二地域居住)

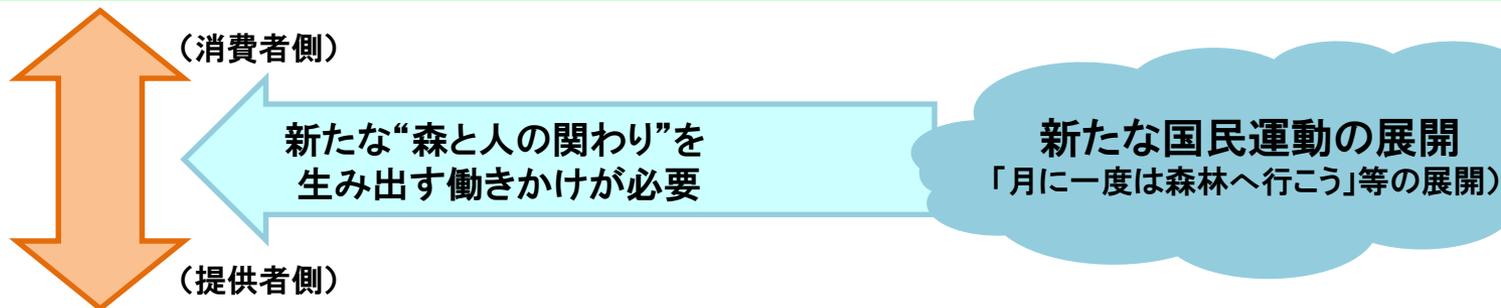
【4】「森林サービス産業 ～新たな森と人のかかわり「Forest Style」の創造～」の提案

③「森林サービス産業」の目指すもの

“Forest Style”とは

- ✓ 人生100年時代のあらゆるステージにおいて、森林とのふれあいや森の恵みをいただきながら、健康的で、文化的な、楽しく心豊かに暮らすことを目指すライフスタイルである。

➡ この結果、地球環境の保全や地域社会の持続性の向上にも貢献する。



“森林サービス産業”とは

- ✓ 森林空間を利用する新たなサービスを創出、または既存のサービスの高度化を図り、そこで展開される様々な活動をビジネスとして展開、それらを集積したもの。

➡ 産業として成立させるには、森林空間を**教育、健康、観光等に活用**し、地域主導で持続可能なビジネスであることが必要。

➡ そして、「新たな森と人のかかわり「Forest Style」の創造」を目指していくものである。

ご静聴ありがとうございました。